

# キュウリのハイワイヤー誘引栽培における 生育、収量、作業特性 (B3)

(高知農技セ) 穂崎健昌、山崎浩実

## 研究概要

キュウリにおけるハイワイヤー誘引栽培は、一般的な慣行つる下げ栽培に比べて、著しい増収となること、作業時間が少なくなることを明らかにした。



ハイワイヤー誘引栽培



慣行つる下げ栽培

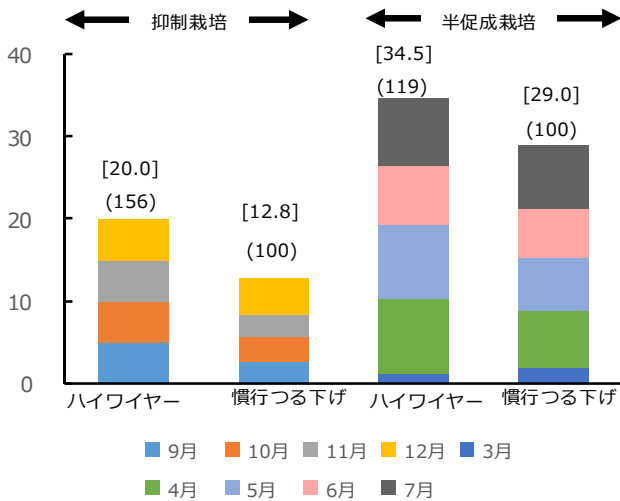


図 抑制栽培、半促成栽培における可販果収量  
注) [ ]は全期間の収量、( )は各作型での慣行に対する収量比を示す

表 作業時間 (時間/10a)

作業種類	ハイワイヤー	慣行つる下げ
つる下ろし	158	677
摘葉	495	508
まきつけ・クリップ留め	522	-
収穫	918	1,064
合計 (比%)	2,093(93)	2,249(100)

注) 抑制及び半促成栽培での合計作業時間

ハイワイヤー誘引栽培では、慣行つる下げ栽培に比べて、

- ・ **著しく増収** (抑制56%増、半促成19%増)
- ・ まきつけ・クリップ留め作業が必要になるものの、つる下ろし、収穫作業時間が削減でき、**全体での作業時間は約7%減**

## 今後の展開

多収生産かつ省力化技術として、農業者への啓蒙と普及を図る。